

とりっぽ通信



TORIPPO
Vol. 24

2025.11

鳥取県保育士・保育所支援センターは、鳥取県における保育士の確保・定着を推進するために活動しています。
保育士の方の再就職・定着への「一歩」、学生の方の「はじめの一歩」を応援します。

イベントのご案内



センター活動の様子は
Facebookでも
ご覧いただけます!

#とりっぽ



保育の魅力発信マルシェ '25 in Yonago



親子も学生もワクワク ほいくの世界

保育のあれこれを 見て・聞いて・触れて 魅力を発見しよう!

日時 令和7年12月20日（土）10:30～12:30

○オープニングステージイベント



○フロアイベント



保育のお仕事体験・交流タイム
赤ちゃんとのふれあい体験



保育士のお悩み解決



保育団体による就職相談コーナー



センターによる相談コーナー

○クロージングステージイベント

会場 米子市ふれあいの里 大会議室

（米子市錦町1丁目139番地3）

詳しくは保育士・保育所支援センターの
ホームページをご確認ください



エルダー・メンター制度に関する研修会と交流研修会の開催

当センターでは9月22日、湯梨浜はごろも苑で（株）キャリアレイズ代表取締役 濱本ひとみ 氏を講師に招き令和7年度エルダー・メンター制度に関する研修会及び交流研修会を開催しました。

講演では、制度導入の必要性や適切な指導方法、各立場における役割の違いなどについて分かりやすく説明いただき、各施設の現場での対応の在り方や今後の工夫について考える機会となったようです。

参加いただいた方からは、「エルダーによる新人職員に対する指導への不安」や「施設長として、エルダーをどうサポートとしていいか」といった悩みが多く聞かれていましたが、「今回の講演やグループワークでの共有で、対策を知ることができました」「この制度を長期的にまた効果的に続けていく学びになりました」といった感想が寄せられました。

エルダー・メンター制度に関する研修会及び認証施設の職員間の交流、グループワークは今後も継続予定です。この制度が施設における若手保育士等を含む職員全体の人材育成と定着につながればと思います。

福祉事業所の人材確保・定着支援セミナー

～選ばれる職場・選ばれる業界になるために～

福祉人材の確保・定着が課題となるなか、今年度の「施設長向け働き方改革セミナー」は福祉人材センターとの共催により、法人・事業所の人事担当者、広報担当者及び施設長等を対象に福祉業界が選ばれるための職場の魅力づくりやその伝え方等について学び、安定した人材確保と定着を図ることを目的に、一般社団法人KAIGO PRIDEの常任理事 小口貴幸 氏を講師に招き、10月9日に実施しました。

講義では介護に限らず、保育・障がい分野も含めて幅広く福祉業界に共通のテーマとして福祉の本質的な魅力（ポジティブな面）に気づくこと、共感力を高める重要性等を学びました。

採用活動や人材育成・定着支援に携わる立場の参加者が、改めて自身の仕事の魅力に気づいたり、発信するための新たな視点と今後に向けた前向きな意欲を得られるなど、1日の研修を通じて、参加者の笑顔が印象的な研修となりました。

<参加者の感想> アンケートより

- ・お話をきいて、福祉職へのリスペクトがより高まりました。
- ・福祉は日本の真ん中の仕事になる、という言葉が印象的でした。
- ・介護も保育も明るくアピールしなければと再認識しました。

「採用力・広報力強化」に関する研修会は継続を望まれる方多く、来年度も実施する予定です。

保育の出前説明会

7月18日(金)
in 米子高等学校

<講 師> 社会福祉法人尚徳福祉会
よなごベアーズ 渡邊保育教諭

今回講師をしていただいた渡邊保育教諭は米子高校の出身者で、また、米子高校とよなごベアーズは場所的にも近く、普段から交流があるとのことで身近に感じられる説明会となりました。

講師自身が保育士を目指した動機やきっかけ、保育士になるための進路などを交えて話をしていただき、また、保育士の仕事について、わかりやすく丁寧に説明していただきました。

特に子どもに対しての対応方法で、マイナスな言葉をかけず、子ども達の気持ちに寄り添ってプラスの言葉をかけるなどの話ををしていただき、生徒さんたちは聞き入っていました。

また、日々の準備など、いろいろ苦労することもあるけれど、子どもの成長を感じとれることや、職場の皆さんと一緒にになって子ども達に寄り添う職場は、やりがいのある仕事であることを話していただきました。

参加生徒さんの感想

- ・子ども達の笑顔や保護者とのやり取りの中で、やりがいを感じているのが素敵な仕事だと思いました。
- ・調べてもわからなかったことや、詳しく聞きたかったことを知れ、将来への想像が膨らみました。また、保育士の仕事など気になっていたことについて知りました。
- ・マイナスに考えていた所を詳しく知ることでプラスになりました。



11月以降の出前説明会

11/25(火)	千代南中学校	講師 もちがせ保育園
1/13(火)	鳥取緑風高校	講師 白兎保育園
1/22(木)	鳥取湖陵高校	講師 めぐみ保育園
2/7(土)	米子北斗中学校	講師 彦名保育園

また報告させていただきます



試験情報



令和8年度 保育士試験

日 程	筆 記 試 験	実 技 試 験
前期試験	令和8年4月18日（土）・19日（日）	令和8年6月28日（日）
後期試験	令和8年10月24日（土）・25日（日）	令和8年12月13日（日）

問合せ先

一般社団法人 全国保育士養成協議会
<https://www.hoyokyo.or.jp/exam/>

保育士資格は、保育士養成校での単位取得による資格取得のほか、**保育士試験に合格する方法**でも資格が取得できます。



こども家庭庁

「ハローミライの保育士」特設サイトのご紹介

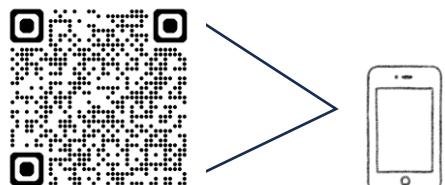


保育士の仕事に興味がある方、保育の現場に復帰したい方、そんなミライの保育士さんに向けて、現役保育士のインタビュー記事などの読み物をはじめ、資格取得方法や地域別の保育情報まで、保育士に関する情報が随時更新されています。現在保育士の方、保護者の方にも楽しんでいただける記事が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

※本資料はこども家庭庁「ハローミライの保育士」のサイトをもとに作成しております。

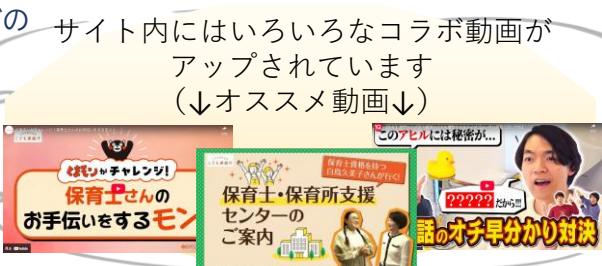
https://www.cfa.go.jp/policies/hoiku/hello_mirai

「ハローミライの保育士」特設サイト



https://www.cta.go.jp/policies/hoiku/hello_mirai

こども向けサイトもあります



保育所等におけるICT化と用語について(参考)

保育の周辺業務や補助業務で保育士等の業務負担の軽減等を図ることを目的にICT等が活用されています。国が打ち出している「保育所等におけるICT化推進等事業」の4機能と主な改善点についてまとめてみました。

- ・園児の登降園の管理に関する機能 → 出欠席人数を確認する際の時間・手間を削減
- ・保護者との連絡に関する機能 → 施設から保護者へ電話以外の手段で連絡ができるようになる
- ・保育に係る計画・記録に関する機能 → 計画の作成の時間短縮と振り返りの書類確認がスムーズになる
- ・キヤッショレス機能 → 現金の取り扱いが減り心理負担の軽減と集金の手間が削減される

また、午睡センサーヤGPSタグなどのICT機器を活用することで、安全対策も強化できます。

<下記用語 説明できますか?>

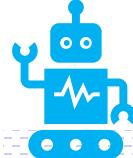
ICT…「Information and Communication Technology」の略で「情報通信技術」。IT(情報技術)にコミュニケーションを加えたもの。通信技術を介して人と人、人とモノが情報を共有・伝達する技術やサービスのこと。

DX…「Digital Transformation」の略で「デジタルの変容・改革」。従来のアナログ的な業務をデジタル的に変革すること。

IoT…「Internet of Things」の略で「モノのインターネット」。住宅や建物、車、家電製品などのモノがインターネットにつながる仕組みのこと。電気ポットの「みまもりほっとライン」や、車の自動運転などはこの仕組になります。

生成AI…「Generative AI」で、さまざまな種類のコンテンツを創り出せる人工知能(AI)のこと。「ChatGPT」などがあります。

RPA…「Robotic Process Automation」の略で定型的な業務を自動化するためのツールのこと。作業を効率化し負担を軽減します。



「福祉のお仕事」サイトをぜひご利用ください

「福祉のお仕事」は、福祉分野の求人情報に関する日本最大級のWEBサイトです。求職登録、保育資格の届出登録、求人検索・閲覧などができます。

The screenshot shows the homepage of the 'Fukushi no oshigoto' website. At the top, there's a search bar and a statistic box stating 'このサイトの求人件数 27,835件' (Number of jobs on this site: 27,835). Below the header, there's a banner with the text '一人ひとりに丁寧に寄り添い、サポートします。' (We support each individual with care) and information about the運営 (Operation) by the 都道府県福祉人材センター・福祉人材バンク (Prefectural Welfare Human Resources Center・Welfare Human Resources Bank) and the 社会福祉協議会 (Social Welfare Council). The main menu features four large buttons: '仕事を探しの方 探す' (For those looking for work), '介護・保育の資格をお持ちの方 届出をする' (For those holding care and education qualifications), '求人事業所の方 求人を出す' (For business operators), and '福祉に関心がある方 福祉の仕事について 知る' (For those interested in welfare). A QR code is located on the right side of the page.

鳥取県保育士・保育所支援センターは保育の現場で働きたいあなたをしっかりサポートいたします！

専門職員による就職支援

保育士キャリアアドバイザーを配置し、皆様に寄り添った就職支援を行っています。就職相談を通じて、あなたの希望に合った求人をご紹介します。希望により保育所等の見学や職場体験の調整・同行をします。まずはお気軽にご相談ください。

※鳥取県福祉人材センターの「無料職業紹介事業」と連携して実施しています。

保育のお悩み相談窓口

仕事や家庭の悩み・困りごとなど…誰かに聞いてもらうことで気持ちが楽になり悩みごと解決のきっかけになることがあります。まずは話してみませんか？（来所は要予約）

様々な情報提供

保育従事者の方に「とりっぽ通信」やホームページ、SNSなどを通じてセンターの取り組みを発信するとともに、セミナーやイベントなどを開催し保育の魅力発信を行っています。

メンタルヘルス専門相談

0857-59-6342
平日8:30～17:00

hoikucenter@tottori-wel.or.jp

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
鳥取県保育士・保育所支援センター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内

TEL 0857-59-6342 FAX: 0857-59-6341 Eメール: hoikucenter@tottori-wel.or.jp



ホームページ



フェイスブック